



**JAPAN AIRLINES**

## 日本航空台灣分公司 (函)

地址：台北市民生東路3段138號11樓

聯絡電話：(02) 21755815 總務部 薛文秀

受文者：如收件單位

發文日期：中華民國一〇七年一月五日

發文字號：日航外發字第 2018003 號

附件：預定行程表及報名表

主旨：謹送「2018年 JAL SCHOLARSHIP 日本研究 PROGRAM」甄選大學生赴日參加研習活動報名表格式(如附件)，敬請 惠允推薦優秀學生參加甄選。

說明：

一、活動宗旨：增進亞洲各國學習日語之大學生對日本的深入了解，促進國際文化交流，期許能成為中日文化交流之橋樑，並積極分享所學，對社會有所貢獻。  
請注意：本屆赴日研修期間，或有與台灣地區各校期末考試期間重疊，懇請參加同學自行斟酌情況並祈踴躍報名參加。

二、主辦單位：公益財團法人 JAL 財團

三、贊助單位：日本航空公司

四、赴日期間：2018年06月25日(一)至07月17日(二)共23日  
(如遇特殊狀況，將更改日期，敬請諒解)

五、台灣北部地區甄選人數：1名

六、參加資格：

- (一) 台中、花蓮以北(基隆市、台北市、新北市、桃園市、新竹縣市、苗栗縣、台中市、南投縣、宜蘭縣、花蓮縣)對日本有興趣之大學、研究所在學學生(2018年參加研修時仍具在學資格為限)。
- (二) 20歲以上、25歲以下、中華民國國籍、品行良好、身體健康、積極進取、有團隊精神、日語能力檢定2級合格者。

七、注意事項：

- (一) 獲選同學赴日研修時，須搭乘主辦單位指定之航空公司班機。如因個人因素，希望更改赴日及歸國日期、班機者，恕不受理。
- (二) 赴日研修前，將由主辦單位提出事前課題檢討、赴日研修結束後之心得報告，參加同學須於主辦單位限定之期間內繳交。
- (三) 獲選同學赴日研修時，須全程參加研修行程，且積極參與活動，嚴守紀律。研修歸國後，能活用所知，貢獻所學。



**JAPAN AIRLINES**

八、報名辦法：

(一). 參加同學提出以 600 字稿紙 2 張繕寫整齊的 1200 字以內之日文小論文

## メインテーマ：持続可能な社会へ

～持続可能な社会を目指して。考えよう、今の社会のために、そして将来世代のために私たちができること～

\*2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。17 のゴールの中から一つを選び、論文を作成頂きます。

[http://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/15760/](http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/15760/)

聯合國發表之 17 個永續發展目標，請參考以上網址及附加之中文、日文資料。

(請將自己的想法具體表達出來，請勿引用書籍或網路上之內容。)

(二). 參加同學填妥報名表後，附上日語能力檢定 2 級合格證書影本及日文小論文，以郵寄方式寄至：

(10596) 台北市松山區民生東路三段 138 號 11 樓

日本航空台北分公司總務部 薛小姐

九、報名截止日期：2018 年 03 月 07 日(星期三)截止收件，郵戳為憑，一律以學校為單位，**每校推薦名額(含研究所)最多合計 3 名。**

十、評選方式：第一次書面審查合格者，將個別通知參加面試。

十一、面試日期：2018 年 03 月 15 日(星期四) (時間將另行通知)

面試地點：台北市民生東路三段 138 號 11 樓

十二、公佈日期：2018 年 03 月 30 日(星期三) (將個別通知)

十三、經費：赴日之機票及期間之住宿、餐飲、交通費用及海外旅行平安保險等(不包括私人花費)，均由主辦單位負擔。

日商日本航空股份有限公司  
台灣分公司

總經理

高橋 徹



## 2018 JAL スカラシッププログラム予定表 (案)

DATE	Day	Date	Plan
1	6/25	月	各国より到着 (羽田、成田)→福岡→宗像市
2	6/26	火	宗像市
3	6/27	水	宗像市
4	6/28	木	宗像市
5	6/29	金	宗像市→福岡→東京→小松→白山市
6	6/30	土	白山市
7	7/1	日	白山市 <u>(白山ホームビジット)</u>
8	7/2	月	白山市→金沢市
9	7/3	火	金沢市
10	7/4	水	金沢市
11	7/5	木	金沢市
12	7/6	金	金沢市
13	7/7	土	金沢市 アジアフォーラムin石川 <u>(金沢市ホームステイ)</u>
14	7/8	日	金沢市 <u>(金沢市ホームステイ)</u>
15	7/9	月	金沢市→小松→東京
16	7/10	火	東京
17	7/11	水	東京
18	7/12	木	東京
19	7/13	金	東京
20	7/14	土	JALスカラシッププログラム公開シンポジウム <u>(東京ホームステイ)</u>
21	7/15	日	東京 <u>(東京ホームステイ)</u>
22	7/16	月	<u>(東京ホームステイ)</u> 夜：修了式 修了証書授与式 フェアウエルパーティ
23	7/17	火	成田・羽田より帰国

## 永續發展目標

- 目標 1. 消除各地一切形式的貧窮
- 目標 2. 消除飢餓，達成糧食安全，改善營養及促進永續農業
- 目標 3. 確保健康及促進各年齡層的福祉
- 目標 4. 確保有教無類、公平以及高品質的教育，及提倡終身學習
- 目標 5. 實現性別平等，並賦予婦女權力
- 目標 6. 確保所有人都能享有水及衛生及其永續管理
- 目標 7. 確保所有的人都可取得負擔得起、可靠的、永續的，及現代的能源
- 目標 8. 促進包容且永續的經濟成長，達到全面且有生產力的就業，讓每一個人都有一份好工作
- 目標 9. 建立具有韌性的基礎建設，促進包容且永續的工業，並加速創新
- 目標 10. 減少國內及國家間不平等
- 目標 11. 促使城市與人類居住具包容、安全、韌性及永續性
- 目標 12. 確保永續消費及生產模式
- 目標 13. 採取緊急措施以因應氣候變遷及其影響
- 目標 14. 保育及永續利用海洋與海洋資源，以確保永續發展
- 目標 15. 保護、維護及促進領地生態系統的永續使用，永續的管理森林，對抗沙漠化，終止及逆轉土地劣化，並遏止生物多樣性的喪失
- 目標 16. 促進和平且包容的社會，以落實永續發展；提供司法管道給所有人；在所有階層建立有效的、負責的且包容的制度
- 目標 17. 強化永續發展執行方法及活化永續發展全球夥伴關係





国際連合広報センター  
United Nations Information Centre

## 持続可能な開発サミット: 人々と地球のために、私たちの世界を転換させよう (2015年9月25-27日) 概要

プレスリリース 15-082-J 2015年09月17日

### 誰も置き去りにしない、新たな持続可能な開発アジェンダ

9月25日から27日にかけて、ニューヨークの国連本部で開催される「国連持続可能な開発サミット」には、161の加盟国の首脳が出席し、新たな野心的な持続可能な開発アジェンダを採択することになっています。この重要なアジェンダは、国際社会と各国政府が、今後15年間の繁栄と福祉の共有を促進するための出発点となるものです。



潘基文 (パン・ギムン) 国連事務総長は8月2日、サミットの成果文書に関する加盟国のコンセンサスができたことを受け、今回の合意が「私たちの世界にとって歴史的な転換点が訪れたことを告げる普遍的、画期的かつ統合的なアジェンダを含んでいる」ことを明らかにしました。

「これは『人民のアジェンダ』であり、あらゆる場所のあらゆる次元で貧困に終止符を打ち、誰も置き去りにしないための行動計画となります」事務総長はこのように述べています。

193の国連加盟国が合意したアジェンダ案「Transforming Our World: 2030 Agenda for Sustainable Development (私たちの世界を転換する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ)」は、宣言、17の持続可能な開発目標と169項目のターゲット、実施手段と新たなグローバル・パートナーシップに関するセクション、および、再検討とフォローアップの枠組みから構成されています。

このアジェンダは、貧しい国、豊かな国、中所得国を含め、あらゆる国々の行動を求める、獨創性に富むものです。また、貧困に終止符を打つためには、経済成長を実現し、教育や保健、社会保障、雇用機会を含む幅広い社会的ニーズに対応する一方で、気候変動や環境保護にも取り組む計画が必要だという認識を示しています。さらに、不平等やインフラ、エネルギー、消費、生物多様性、海洋、産業化といった問題も取り扱っています。

この新しい持続可能な開発アジェンダは、エチオピアのアディスアババで最近開催された「開発資金会議」の成果を土台としています。また、今年12月にパリで行われる新たな有意義かつ普遍的な気候協定に関する交渉にも好影響を与えることが期待されています。

### 人々と地球のためのグローバルな行動に向けた政府間協議プロセス

史上最大の成功を収めた貧困対策運動のきっかけとなった「ミレニアム開発目標 (MDGs)」は、世界のリーダーが9月、採択する新たな持続可能な開発アジェンダのたたき台となっています。

1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連環境開発会議 (地球サミット)」以来、世界は人間の福祉を実現する新たな経路として、持続可能な開発の道を歩むことを明らかにしました。「アジェンダ21」で提示された持続可能な開発という理念は、経済開発と、人々のニーズを充足し、環境を守る成長とのバランスをとらなければならないことを認識するものでした。

新たな持続可能な開発アジェンダは、2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」の成果、2010年の「MDGsサミット」、2012年の「国連持続可能な開発会議 (リオ+20)」の成果、および、全世界の人々が示した見解を基に策定されています。

各国はMDGsの成功を認識し、リオ+20の成果文書「私たちが望む世界」の中で、一連の持続可能な開発目標を策定し、検討と適切な行動を仰ぐためのオープン・ワーキング・グループの設置に合意しました。

オープン・ワーキング・グループは1年以上に及ぶ包摂的かつ集中的な協議の末、17の具体的な目標と、これに関連する169項目のターゲットを提案しました。

2年以上にわたり行われた目標の内容に関する政府間交渉には、市民社会その他のステークホルダーからも数多くの意見が寄せられました。包摂的で透明性のある協議の結果、8月2日には、新たな持続可能な開発アジェンダに関する成果文書についてコンセンサスが成立しました。

この新しいアジェンダは、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で、世界のリーダーが正式に採択することになります。

### 持続可能な開発目標

- 目標1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 目標2 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
- 目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

- 目標4 すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 目標6 すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
- 目標7 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 目標8 すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する
- 目標9 レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
- 目標10 国内および国家間の不平等を是正する
- 目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
- 目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 目標13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
- 目標14 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
- 目標15 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
- 目標16 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
- 目標17 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

\* \* \* \* \*

関連リンク: [持続可能な開発目標ファクトシートはこちらをご覧ください。](#)

Copyright © UNIC, All Rights Reserved.